

平成 26 年度 全国獣医師会事務・事業推進会議の開催

平成 26 年度 全国獣医師会事務・事業推進会議の概要

- I 日時：平成 26 年 7 月 18 日(金) 14:00～17:10
- II 場所：神戸ポートピアホテル本館 B1 階「偕楽」
- III 出席者：
- 1 全国 54 都道府県市獣医師会
担当役員・事務局職員
 - 2 日本獣医師会
会長：藏内勇夫
副会長：近藤信雄，砂原和文，酒井健夫
専務理事：矢ヶ崎忠夫
顧問：北村直人
事務局職員：12 名
- IV 説明・報告事項
- 1 日本獣医師会説明事項
 - (1) 平成 26 年度事業計画
 - (2) 獣医学術学会事業関係
 - ア 学会組織と事業運営の状況
 - イ 獣医学術学会年次大会・同地区学会の開催
 - (3) 獣医学術講習会研修会事業
 - (4) 日本獣医師会獣医師生涯研修事業
 - (5) 獣医事対策等普及啓発事業
 - ア 2014 動物感謝デー in JAPAN
 - イ 日本獣医師会動物愛護週間関連行事褒賞事業
 - (6) 動物福祉適正管理施策支援事業
 - ア 動物適正管理個体識別登録等普及推進事業
 - (7) 東日本大震災への対応
 - ア 義援金の募集と配分
 - イ 動物救護活動
 - (8) 部会委員会等運営事業
 - (9) 日本獣医師会獣医師福祉共済事業
 - ア 生命共済事業
 - イ 賠償共済事業等
 - (10) その他
 - ア 日本獣医師会ロゴマークの商標登録
 - 2 決議要請事項等
 - (1) 平成 25 年度地区大会決議・要請事項等に対する対応
 - (2) 地方獣医師会及び日本獣医師会照会事項
 - 3 映画「夢は牛のお医者さん」特別上映会

V 概要

【開会】

日本獣医師会事務局の司会で、次のとおり会議が進め

られた。

【開会の挨拶】

藏内会長から以下の挨拶が行われた。会長就任後、およそ半数の地方会を訪問し、いずれも暖かく迎えていただき、活発な意見交換ができたことに感謝を申し上げる。日本獣医師会は国家・国民の期待に応えられる獣医師を育成し、各領域でまた各地でその役割を果たすことができるように、その立場や処遇を確保し改善することにある。その実現には、日本獣医師会と地方獣医師会が一体となって努力しなければならない。日本獣医師会は地方獣医師会のために存在し、地方獣医師会は日本獣医師会を支えていただく関係にあり、情報を共有して共に信頼し目標に向かって行動しなければならない。

現在、日本獣医師会は、多くのご意見を直接お聞きするため、全国獣医師会会長会議を活性化し、また、日本獣医師会政治連盟を本会と分離しつつ密接に連携しながら政治的な課題解決や地方獣医師会から要請活動に当たっている。また、獣医学教育、獣医療の充実、人と動物の共通感染症、学校飼育動物、公衆衛生、野生動物等の課題は、従来どおり日本獣医師会の 7 つの部会でしっかりと論議をし、真摯に取り組んでいる。スピード感を持って解決しなければならない狂犬病防疫対策、医師会との学術連携、女性獣医師の就業支援については、3 つの特別委員会を設置して検討を行い、年度内に方向性を示す予定である。

現在、四国で新しい獣医学部を設置する動きがあるが、新規獣医師の需給バランスは取れて、逆に獣医師でありながら無職の方の就業や処遇問題がある。その地域内で新卒の獣医師が就職しないことは、つまりその地域の獣医職の環境や処遇が十分でないことが原因である。獣医学科の設置により大学の人気を上げ、地域の活性化につなげる考え方に問題がある。最も大切なことは、獣医学教育の国際水準に整備充実することであり、我が国の獣医師が国際的に通用するためには、国際水準の獣医学教育環境の下で獣医師を育成しなければならない。我々は既に 20 数年間、獣医学教育の充実に向けて努力を積み重ねてきていて、断固として反対しなければならない。このことは先の日本獣医師会総会で決議された。

このような問題を解決し、獣医師会が活動を推進するには、55 地方獣医師会の皆様方と情報を共有し、目的意識を持ち行動していく必要がある。既に獣医学教育の充実に対する地方獣医師会の決議、あるいは地方公務員の

処遇改善に関する知事，県議会に対する要請に関してご理解・ご協力をお願いしているが，地方獣医師会が課題解決に向けて積極的に活動をされていることは，日本獣医師会として大変心強く，そしてありがたく思っている。

【議 事】

1 日本獣医師会説明事項

矢ヶ崎専務理事から挨拶及び平成 26 年度事業の概況について説明された後，事務局担当者から，①平成 26 年度事業計画，②獣医学術学会事業関係として，次期学会幹事の選任，地区学会への学会正副会長の出席予定について，③獣医学術講習会研修会事業として，獣医療提供体制整備推進総合対策事業に係る研修・講習会と産業動物臨床・小動物臨床・獣医公衆衛生の講習会について，④日本獣医師会獣医師生涯研修事業として，今後の事業推進について，⑤獣医事対策等普及啓発事業として，2014 動物感謝デー in JAPAN の開催の概要，日本獣医師会動物愛護週間関連行事褒賞事業について，⑥動物福祉適正管理施策支援事業として，動物適正管理個体識別登録等普及推進事業について，⑦東日本大震災への対応として，義援金の募集と配分，動物救護活動について，⑧部会委員会等運営事業として，新たに設置した 3 つの特別委員会と部会委員会の実施状況について，⑨日本獣医師会福祉共済事業として，生命共済事業，獣医師賠償共済事業について，⑩その他として，日本獣医師会ロゴマークの登録商標について概要が説明された。

説明事項の各内容について質疑応答が行われ，その主な内容として，農林水産省の補助事業として開催する講習会の会議費は今年度から支払うことができないが，本会主催の産業動物臨床・小動物臨床・獣医公衆衛生講習会の会議費は従来どおり支払う予定であること，生涯研修事業の新システム利用に当たってはセキュリティー面を考慮して ID とパスワードを設定する予定であること，2014 動物感謝デー in Japan における地方獣医師会の協賛金額は，台風により中止となった昨年度の状況を考慮した対応とする予定であること，現在発行している学校新聞を全国の地方獣医師会にも普及・推進することが望ましいこと，農場 HACCP に関する検討は，今後産業動物臨床委員会と家畜衛生委員会の連携の中で行い，本件の検討を行う場合には関連団体からの出席を求めて意見・説明をいただく方向で委員長と調整を進めたことについて，それぞれ事業内容の確認等が行われた。

2 決議要望事項・照会事項

事務局から，平成 25 年度に実施された地区獣医師大会における決議要望事項等の内容とその対応，及び地方獣医師会及び日本獣医師会照会事項について説明が行われた。

3 映画「夢は牛のお医者さん」特別上映会

映画「夢は牛のお医者さん」の上映会を行った。